

議会だより ピンチはチャンスと新たな時代に挑戦する重要な議会と踏まえ積極的に質問しました

9月3日から10月6日にかけて令和元年度北九州市決算議会が行われました。

新型コロナウイルスの感染拡大によりこの数ヶ月でわが国のみならず、世界中が大きく変わりました。今年の1月までは課題はあるものの、本市にとっては上向きの経済状況と「暮らしやすさ」や「住みよさ」が評価され、これからという時期にこれまでの常識が大きく変わり、経済が大打撃を受ける状況にとまどうばかりですが、急速なテレワークの推進や価値観の変化によって東京一極集中から地方へ目が向けられはじめました。



(代表質疑)

ピンチはチャンスと新たな時代に挑戦する重要な議会と踏まえ会派を代表して質疑を行いました。(質問の詳細や答弁は紙面の関係で北九州市議会会議録検索をご覧くださいか、事務局までお問い合わせください。)

質疑項目は以下の通りです。

1. 令和元年度決算について

- 令和元年度北九州市決算をどのように評価しているか？またウイズコロナ、ポストコロナの中で今後どのように財政運営を行っていくのか？

2. 産業経済費及び定住促進について

- Uターン事業や定住・移住の推進について、今後は東京一極集中から地方への動きが加速すると考える。本市は新幹線の駅近くに都会に比べ安価なビルや住宅が多く、しっかりした医療体制があり、子育て支援9年連続政令市1位で食べ物も比較的安価で美味しいことなど、定住移住の取り組みなどから住みよさの評価が広く知られるところとなっている。この機を逃さずアンテナを高くし人や企業の取り組みに力を入れ、具体的な暮らしのイメージを広く発信すべきではと見解を尋ねました。
- 地元で苦しんでいる飲食業などに経済対策を行い、しっかりと支援をすることはもちろん やむなくいったん店をたたんだ方が、再度挑戦を応援できるまち、市外からもチャンスを探して人が来るような支援策を

3. スポーツの振興について(時間の関係で要望)

- ギラヴァンツ北九州の活躍をまちを盛り上げるためにも市民を巻き込み支援を

4. 子育て支援について

- 児童虐待防止について
- 新型コロナウイルスから妊婦と胎児を守る為の妊娠相談窓口の強化とPR、赤ちゃん特別給付金について

5. 健康の維持向上

- 昨年度の「ガンを予防するプロジェクト」の取り組みについて
- コロナ禍で病院に行くことを恐れるあまり検診率が下がっている。新型コロナウイルスにかからなくても病気が進行して取り返しがつかない状況にならないよう、安心して検診を受けられるよう支援や啓発を



6. 消費者行政、消費者教育について

- 2022年から成人年齢が引き下げられ18才となる。人生経験の少ない若者が親の同意を得ず様々な契約をする事ができ不当な契約等から逃れる事ができる未成年取消権を喪失することで、消費者被害が増大する事が懸念される。法の施行を前に児童生徒や若者への消費者教育が重要。昨年度の消費者行政及び消費者教育に対する事業実施状況と今後の取り組みについて尋ねました。

7. 教育について・特別支援教育の充実

- 特別支援教育の充実**
発達障害などの障害のある児童が他校にある通級指導教室に通う事なく、自校の通常の学級で教育を受けながら、必要な時間に特別な指導を受けられる特別支援教室がモデル的に行われている。少しでも早く全市的に取り組んでほしい。今後の拡大について尋ねました。
- 学校給食について**
給食調理室の早期の空調整備を求めました。

8. 選挙の投票率の向上について

- これまでの投票率の低下傾向や、とりわけ若者の投票率が低い状況は続いており、昨年度の投票率向上に向けた取り組み状況と、来年予定の市議会議員選挙はコロナ禍で高齢者も投票に行くことを躊躇される可能性もあり、さらに投票率低下が心配される。新型コロナウイルス感染症にかかる安全対策、期日前投票場所の更なる拡充、選挙公報の充実等さまざまな対策について尋ねました。

9. 新型コロナウイルス感染症に対応する本市の支援策について

- 今後の新型コロナウイルス感染症拡大に備えPCR・抗原検査拡充事業について、1日あたりの検査可能人数、費用や決定事項を尋ねました。

インフルエンザ予防接種支援事業について

65才以上の高齢者は無料、市内の医療施設、高齢者・障害者施設、児童福祉施設、教育機関、消防署等で業務に従事する職員は、1,000円で予防接種が受けられます。また、更に会派で要望していた中3・高3・妊婦も1,000円で受けられるように追加されました。 ※ただし、予防接種は強制するものではありません。

決算特別委員会の中でも積極的に質問要望しました。

教育委員会	1、心の育ちについての教育について 2、子どもの体力向上と骨折の増加について 3、特別支援教育を推進する体制の充実(テレワークで可能性が広がった就労支援教育を) 4、学校の体育館 避難所のマットと特別教室の利用について
保健福祉局	1、自殺防止の取り組み強化について 2、障がい者の就労支援対策について 3、ワクチン接種について正しい情報を 4、動物愛護の正しい啓発と動物保護団体への支援策について
市民文化スポーツ局	1、市民センターの避難時に使用できるマットを増やすことについて 2、藤井壮太棋聖人気にみる本市での将棋の大会について
子ども家庭局	1、区役所の子ども家庭相談コーナーの重要性と嘱託職員さんの処遇改善について 2、電子母子手帳と父親も含めた名称について 3、養育費の周知啓発について 4、薬物乱用について 大麻乱用少年が増えているが対策を
	他

